

# 長浜市の部活動改革

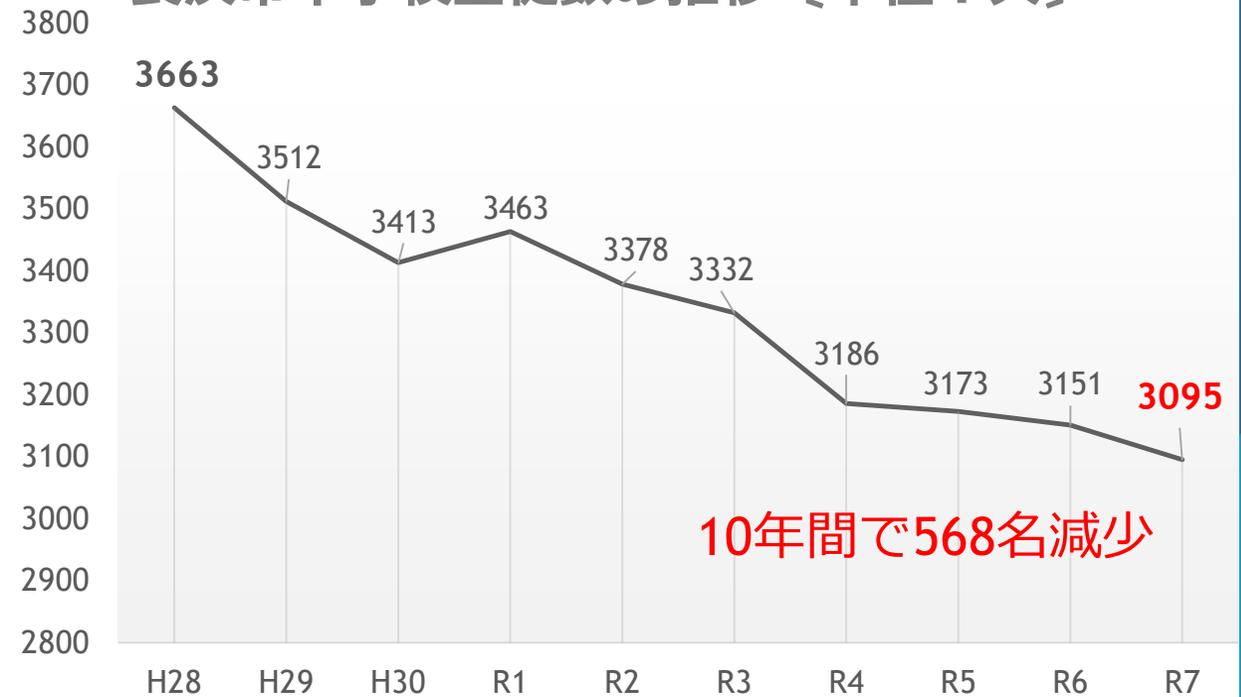
地域展開に向けた考え方と取組

長浜市教育委員会事務局教育指導課

# 1 長浜市の部活動の現状

長浜市内12の中学校・義務教育学校では、これまでから熱心に部活動が継続されてきた。しかし近年、少子化の影響による部員数の減少や教員の専門性の観点から、子どもたちのニーズに応じた部活動を維持することが難しくなってきた。同時に民間クラブへの加入が増えるなど生徒の部活離れが急速に進み、小規模校においては単独で部活動が維持できなくなり、子どもたちの部活動環境が危機的状況にある。

長浜市中学校生徒数の推移〔単位：人〕



学校部活動加入率および部員数〔単位：上段（％）・下段（人）〕

年度	H27	R2	R3	R4	R5	R6	R7
運動部	76.5	69.9	67.9	64.8	66.1	65.4	65.3
	2,904	2,360	2,262	2,065	2,098	2,060	2,020
文化部	18.3	19.4	18.8	19.8	17.9	17	17.2
	695	657	626	630	567	537	531
未加入者	5.2	10.7	13.3	15.4	16	17.6	17.5
	196	361	444	491	508	554	544

運動部加入率の減少と未加入率の増加

部活設置数（単位：部）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
運動部	105	104	101	101	98	97	97	93	93	91
文化部	26	26	23	23	23	23	22	22	21	20
合計	131	130	124	124	121	120	119	115	114	111

10年間で20の部が廃部

# 部活動等加入状況調査

R7年6月時点

中学校名	訪問日	部活数	生徒数	加入者数	加入率(%)	未加入数	未加入率(%)	クラブチーム 所属者数	クラブ 所属率(%)	夏季総体後、存続が危ぶまれる部	部活動時間制限の 有無
西中学校	5/27	14	434	377	86.9	57	13.1	20	4.6	ソフトボール部(中体連参加せず) 野球部、アメフト部(秋以降単独登録できず)	○
北中学校	6/9	15	687	557	81.1	130	18.9	48	7.0		○
東中学校	6/12	9	174	143	82.2	31	17.8	20	11.5	サッカー部(合同チーム、休部の危機)	○
南中学校	5/28	12	378	327	86.5	51	13.5	47	12.4	アメフト部(部員数減) ソフトボール部(部員数減)	○
浅井中学校	6/16	12	360	295	81.9	65	18.1	65	18.1	野球部(合同チーム) 男子バレーボール部(部員数減)	○
びわ中学校	6/25	7	152	120	78.9	32	21.1	39	25.7	女子バスケットボール部	○
湖北中学校	6/12	9	242	184	76.0	58	24.0	87	36.0	野球部(夏季総体後活動停止) 女子バスケットボール部( " )	○
高月中学校	6/26	11	281	223	79.4	58	20.6	32	11.4	ソフトボール部(夏季総体後活動停止) サッカー部(部員数減:検討) 野球(合同チーム)	○
木之本中学校	6/23	7	137	104	75.9	33	24.1	18	13.1	野球部(拠点校化を検討)	○
西浅井中学校	4/30	4	99	74	74.7	25	25.3	16	16.2	女子バレーボール部(部員数減) 柔道、剣道は地域クラブで活動	○
余呉小中学校	6/18	4	46	44	95.7	2	4.3	4	8.7	女子バレーボール部(部員数減)	○
虎姫学園	6/25	7	105	103	98.1	2	1.9	15	14.3	サッカー部(合同チーム) 野球部(合同チーム) 女子バレーボール部(部員数減)	○
		111	3095	2551	82.4	544	17.6	411	16.1		

## 2 国の考え方

### 「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」最終とりまとめ

- ▶ 急激な少子化が進む中、将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会・充実するために環境整備を図ることが重要。
- ▶ 学校単位で学校部活動として行われてきた活動を、地域全体で関係者が連携して支え、豊かで幅広い活動機会を保障することが重要。



- ▶ **「地域展開」** ・ ・ **学校部活動→地域クラブへの展開**に取り組む。

改革実行期間：前期3年間（R8～R10年度）後期3年間（R11～R13年度）

- ▶ **【休日】** 原則、**全ての学校部活動の地域展開を実現し、地域クラブ活動に転換**を目指す。
- ▶ **【平日】** 各種課題を解決しつつ**更なる改革を推進**する。

### 3 滋賀県の考え方

#### 「滋賀県の方針」

- ▶ 「**地域連携**」を中心とした部活動改革の推進
- ▶ 安定的に部活動を実施していくため、

**部活動指導員等を確保し、現状の部活動をサポート** (地域連携の強化)

(ただし、国の地域展開の方針を見据えた対応も同時に考えることが必要)

地域指導者の発掘、コーチバンクシステムの活用、部活動とのマッチング、  
企業との連携・・・



**必要な人材を配置し、教員の負担軽減を目指す**

## 4 長浜市の考え方

- ▶ これまでから、多様な部活動環境を整えるため、
  - ① 学校の枠組みを超えた「合同型部活動」や「拠点校型部活動」の取組
  - ② 専門的な指導を提供する「部活動指導員等の外部指導者の配置」を促進するなど「地域連携」を中心とした部活動改革に着手してきた。
- ▶ 今後は「地域連携」による部活動改革を一定期間継続しつつ、
  - ③ 「地域展開」に向けた地域クラブとの連携、新たな地域クラブ設立に取組み、学校部活動に代わる「新たな地域クラブ」への段階的な展開を目指して、R8年度以降、**部活動改革に着手**するとともに、**指導者確保**に取り組む。

## 5 部活動と新たな地域クラブの違い

	【部活動】	【新たな地域クラブ】
活動単位	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 中学校（同じ学校の生徒）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 学校に関係なく市内から参加可能（中学生以外も参加可）</li></ul>
活動時間	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 学校の決めた時間（ガイドライン）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 下校後（17時以降）と休日の活動</li></ul>
指導者	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 顧問（教員）または部活動指導員</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 地域指導者、希望する教員（兼職兼業）</li></ul>
活動場所	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 自分の通学する学校施設</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 市内の学校施設、文化、スポーツ施設等</li></ul>
費用	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 個人の用具や交通費等の実費</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 会費（月謝）、個人の用具や交通費等</li></ul>
保険	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 災害共済給付（学校安全会）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ スポーツ安全保険等の各種保険</li></ul>

## 6 地域展開に向けた具体的な取組

### (1) 平日の部活動改革について

前期：R8年度～R10年度

学校部活動の継続・部活動時間の短縮に取り組む

《**現行**》 市内中学校・義務教育学校の一般的な部活動に関する時間

(夏季：最長時刻) 部活動終了17時15分      完全下校17時30分

(冬季：最短時刻)      //      16時15分      //      16時30分



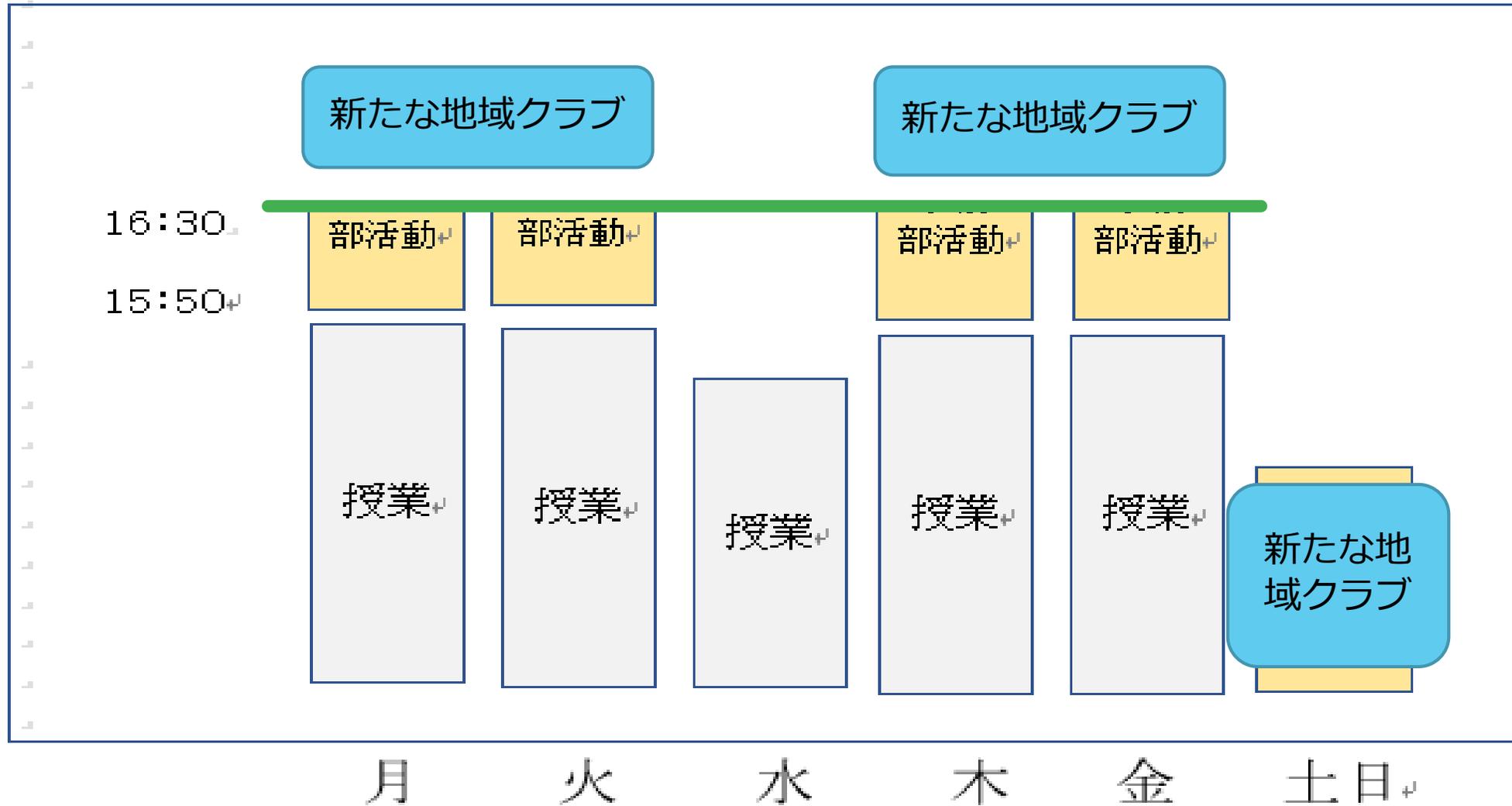
《**見直し**》

(通常期間)      部活動終了16時30分      完全下校16時45分

(12月～2月)      //      16時15分      //      16時30分

17時以降は「新たな地域クラブ」活動に順次移行する

# 部活動地域展開のイメージ



## (2) 平日の部活動改革に取り組む理由

### ① 新たな地域クラブの指導者確保

教員の在校等時間削減が教員のゆとりにつながり、希望する教員が兼職兼業により地域クラブでの指導が可能となる。

### ② 新たな地域クラブの活動場所確保

平日の部活動を短縮することで、17時以降、地域クラブが学校施設（グラウンド、体育館等）を利用した活動が可能となる。

### ③ 新たな地域クラブの立ち上げが加速

平日の部活動改革に取り組むことで、新たな地域クラブの設立に向けた動きが加速し、休日も含めた地域展開につながる。

### (3) 平日の部活動改革について

前期：R8年度～R10年度（放課後の部活動継続、時間短縮）

検証

後期：R11年度以降（放課後の部活動→マルチ文化・スポーツ活動を実施）

マルチ文化・スポーツ活動は、一つの種目に限定せず、複数の文化活動やスポーツに親しむ活動。生徒の自主的な活動を基本とし、教師は活動を見守る。



## (4) 休日の部活動改革

前期：R8年度～R10年度

現行どおり **学校部活動の継続。**

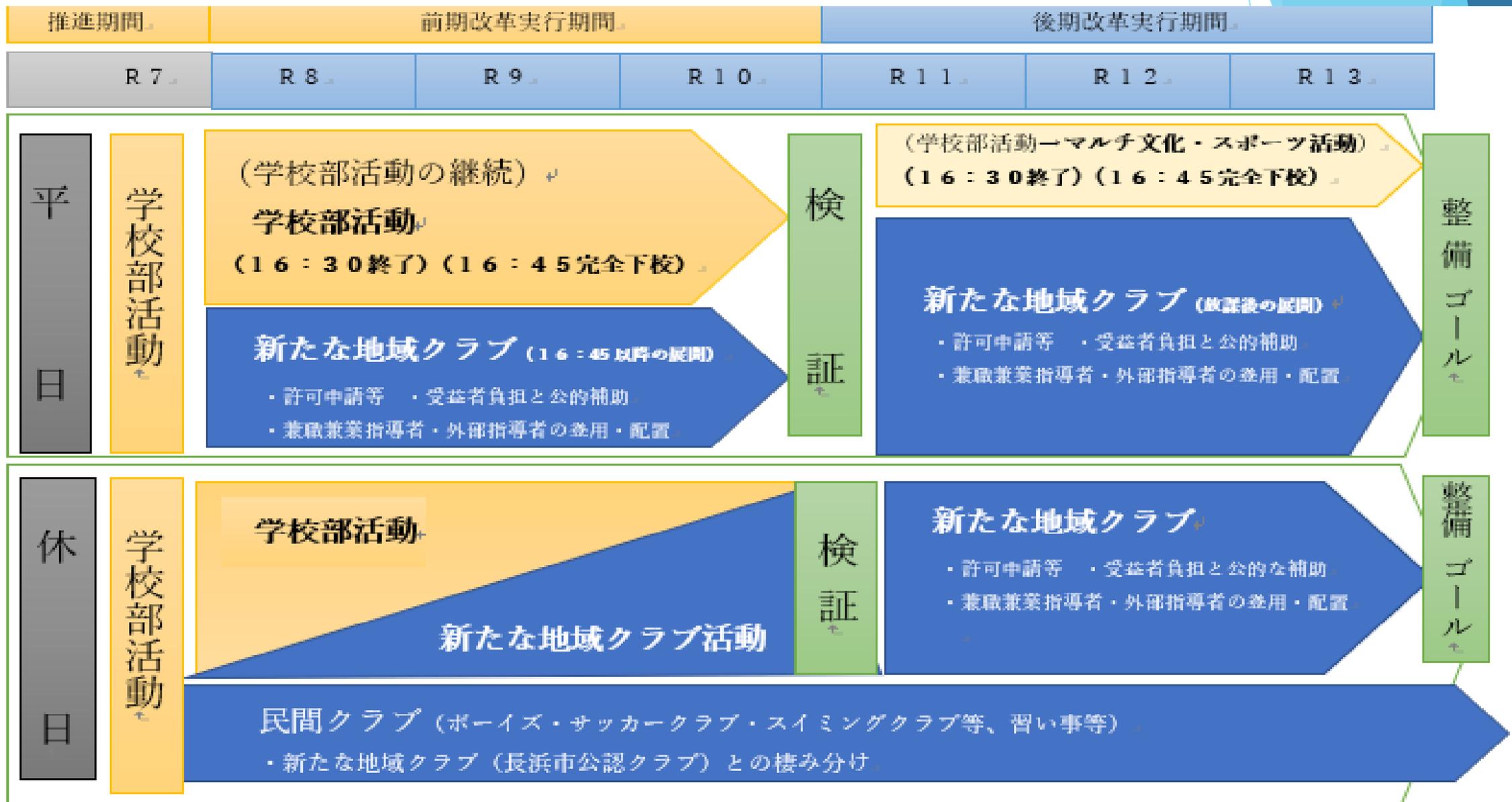
(条件が整った部活動から、新たな地域クラブに順次展開する)

後期：R11年度以降・ **新たな地域クラブで活動**

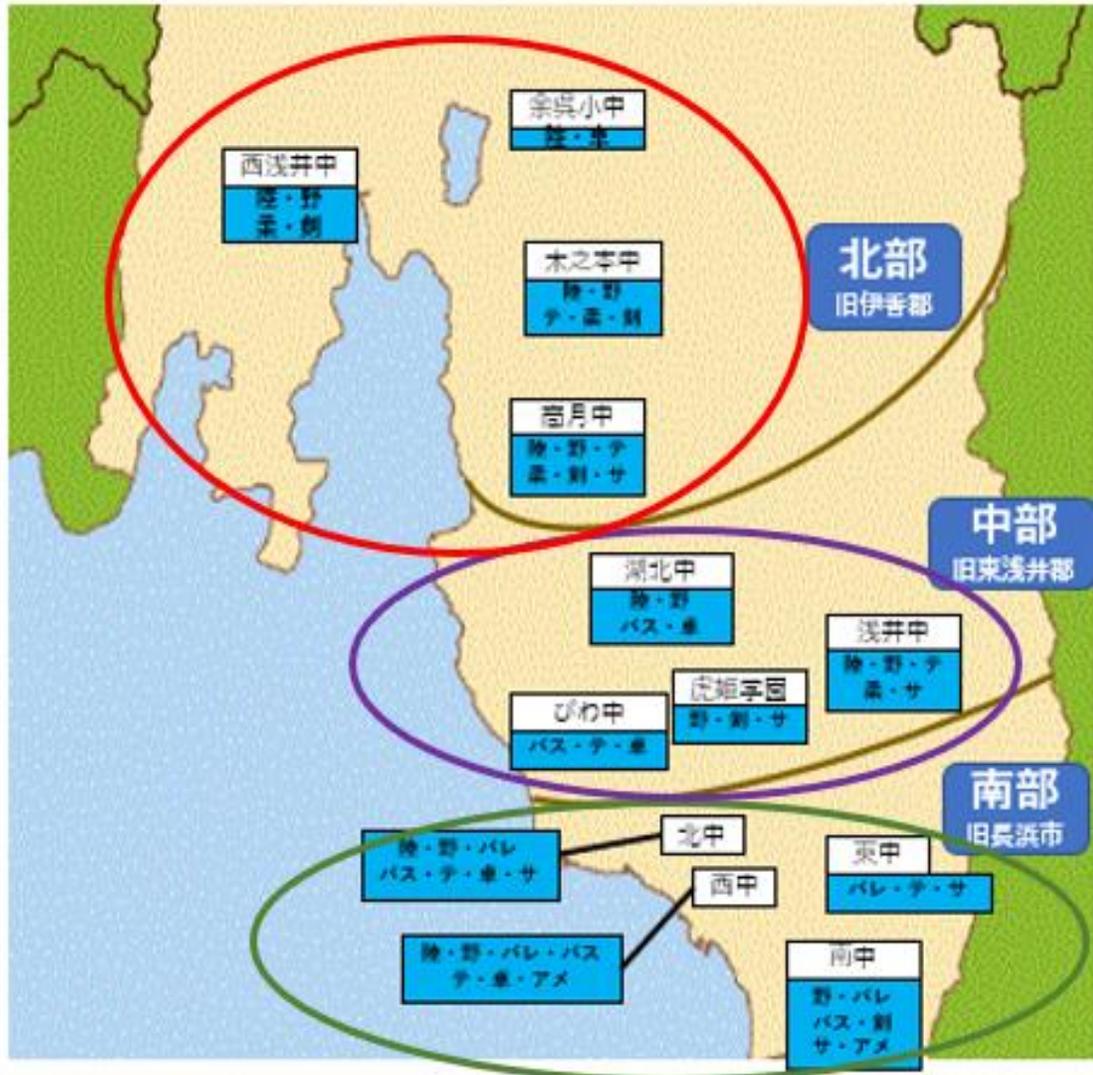
「地域クラブ」や「民間クラブ」「その他の場所」で活動する。



# 長浜市の部活動地域展開イメージ図 (教育委員会)



# 新たな地域クラブ設立イメージ



## (5) 指導者確保

新たな地域クラブの指導者確保に向けて

- ・ 現在、**市内12校**の中学校・義務教育学校に設置されている  
**部活総数は111部**（運動部91部、文化部20部）
- ・ 全ての学校部活動が地域クラブに展開する際、  
近隣校との部活統合を含め、全体で**約200名の指導者を想定**  
**R8年度～R10年度までの3年間で段階的に確保する**

候補① 部活動指導員、部活動支援員の活用 (30名)

R7年度、各校に配置している外部指導者28名

(部活動指導員17名、部活動支援員6名、地域移行実証事業外部指導者5名)

部活指導経験を生かし、新たな地域クラブで継続指導を担う人材

## (5) 指導者確保

### 候補② 教職員の兼職兼業による指導者確保 (100名)

- ・ 中学校および小学校教諭を対象に地域クラブ指導者を募る
- ・ R5年度教員対象アンケート  
〔中学校教員〕 12% (25名) ・ ・ 地域クラブでの指導を希望  
29% (60名) ・ ・ 指導者をしてほしいと回答
- 〔小学校教員〕 3% (11名) ・ ・ 地域クラブでの指導を希望  
13% (46名) ・ ・ 「報酬があれば携わりたい」と回答
- ・ R7年度、教職員の兼職兼業状況 ・ ・ 小学校1名、中学校1名
- ・ その他、教員が自校生徒を対象として、平日の夜または休日に指導しているクラブが6チーム (8名)
- ・ 今後も教員によるクラブ設立や兼職兼業が進む傾向がある地域クラブ指導者として確保していく。

## (5) 指導者確保

### 候補③ スポーツ少年団、ジュニアを対象とした文化・芸術クラブの指導者の協力 (50名)

- ・ 地域にはすでにスポーツ少年団（スポ少）やジュニアを対象とした文化芸術クラブ、各種教室の活動が行われている。このスポ少やクラブ・教室に中学部を設置し、既存クラブの指導者が児童・生徒を継続して指導する体制を整え、指導者確保に努める。

### 候補④ 新たに誕生する地域クラブの指導者に期待 (20名)

- ・ 保護者、地域、企業、大学、高校連携、その他、部活動に代わる新たな地域クラブ設立の動きを支援するとともに、指導者養成を通じて人材確保に努める。

## 7 体制づくり等

### ▶ 部活動地域展開を進める組織（事務局）の強化

#### 【事務局の役割】

- ① 体制づくり
  - ・ 受け皿となる「新たな地域クラブ」の設立支援、管理
  - ・ 各中学校と関係地域団体、企業、大学等との連携調整
  - ・ 情報収集、広報活動等
- ② 人づくり
  - ・ 指導者の発掘、登録、育成、研修等
- ③ 環境づくり
  - ・ 活動場所（施設）調整、環境整備、健康・安全面への配慮
  - ・ 成果発表の場

### ▶ 財源確保（地域展開を推進するための財源）

補助金、委託費、民間資金の活用、受益者負担（適正な水準）  
経済的困窮世帯の生徒への支援策

## 8 今後のスケジュール

- ▶ 8月 第2回部活動に係る学校訪問（市内12校の中学校・義務教育学校長との懇談）
- ▶ 8月中旬 部活動地域移行推進協議会 会長・副会長への説明
- ▶ 8月28日 部活動地域移行推進協議会
- ▶ 9月25日 定例教育委員会
- ▶ 10月2日 庁議
- ▶ 10月7日 市立学校校長会
- ▶ 10月16日 総務教育常任委員会
- ▶ 11月上旬 保護者通知、プレス発表（秋季大会後）
- ▶ 11月 スポーツ・文化関係団体、企業との連携、地域クラブ設立支援  
指導者確保・配置
- ▶ R8年4月 「平日の部活動改革」に着手
- ▶ 地域クラブの支援、指導者の育成・研修
- ▶ R10年 推進計画作成、地域クラブ活動のガイドライン作成
- ▶ R11年4月 「休日の部活動改革」に着手